

コズミック・ディスクロージャーは怎么样了か？

Greatchain

2019/03/08

この問題が今、ネット上ではおそらく一番の話題になっていて、その指導的人物は疑いなく、私が早くから予想していたデイヴィッド・ウィルコックである。彼と、太陽系の外まで行ったことがあるというコーリー・グッドがコンビになれば、最高である。それと SETI のポータルによって6回宇宙へ出発したという、エメリー・スミスも面白い。それに、最近エイリアンの体験をしたという、アレックス・ジョーンズをはじめ、かなり多くの人々が本気で発言するようになり、いよいよ、冷笑していた人がそうはできなくなった、というのが現状であろう。この現象自体がディスクロージャー（宇宙の秘密の開示）だとも考えられる。

先日（2/24）のウィルコックの記事では、ET たちは最初から姿を現すのではなく、最初は、通信とか夢という手段を用いると言っていた。この夢については、私のように、そんなことがめったに起こらない者にまで起こっているから、世間一般には、その類いの経験者は相当数いると考えていいだろう。

私の体験は、2013年の初めのものであり、そのときダウンロードした、大部の「Earth Reborn」という文書を読んでいたとき起こった。午前中から異常に眠くなり、そのまま寝ると、角形に思えた UFO が現れ、そこからカッコイイ男が降りてきて、よく映画で変装をする俳優がやるように、頭にぴったりかぶった仮面を勢いよく脱いでみせた。すると精悍な顔が現れ、額には細い紐になった髪が下がっていた。この男は接近してきて、その首が私の頭の上を通り過ぎて行った。これは実は、読んでいた文書の終わりに近い部分にある、Ashtar という名の肖像の人物だった。それきりで私には、そんなことは後にも先にも起こったことはない。この人物は検索すれば出てくるもので、他にも時たま見かけ、宇宙の軍隊の司令官として有名であるらしい。

この人物が、善玉であるのか悪玉であるのかもわからぬまま、興味を失っていたが、6年たって、にわかになんかこれが現実味を帯びてきた。Ashtar はどう見てもハンサムだが、宇宙空間には驚くほど多種多様な人間あるいは準人間がいるのは、誰の証言を聞いても同じである。そして無重力技術は当たり前のようにあり、空間の瞬時の移動も、異次元間(inter-dimensional)の移動も普通のようなものである（あるいは急速に普及したのか？）また地球上にも、エイリアン

はいくらでもいると言う。

こういう話を広げることは私には不可能なので、ここでは特にウィルコック (3/4) の、彼自身のサイケデリックの体験について考えを述べようと思う。ある薬物によって起こされる一連の体験を、bad trip (悪い旅) と言い、その薬物とそれが起こす体験を DMT、DMT trip と言うらしい。これを幻覚剤、幻覚と訳すものだから、私はこれを、純粹に自分の感覚の創り出す主観的なものだと思っていた。しかしこれは臨死体験と同じように、客観的な対応物をもつものだった。少なくともウィルコックはそのように解釈し、宇宙に (しかし違う次元に) 実在する、その特定の醜悪かつ邪悪な悪 (おそらくサタンの眷属) と対決しようとしているのである。

サタンは実在するが、単一次元に平面的に存在するのではなく、地球上では、単なる犯罪者 (= 深層国家) からサタン直下の祭司まで階層をなしているように、超 3 次元世界でも、サタンは手下どもを、最下層まで従えていると考えられる。これは例えば、The End Is Near!! The Truth about Inter-Dimensional Beings (終わりは近い! 異次元間存在についての真理) というユーチューブでも、同じ考え方をしている。ここでいう「異次元」世界は、いわゆる「あの世」ではなく、この世にあって次元の違う存在者の世界である。その異次元世界には、神に向って目覚めようとする者たちの世界と、それを妨げようとするサタン勢力の世界が対立している。このユーチューブでは、対話者たちは、「この世の君」(聖書) の代わりに「この空間の君」と言って、異次元世界も広範囲にサタンに支配されており、目覚めなければ我々は滅びると言っている。

「目覚めよ」と昔から言われてきたことが、今、二重の意味を帯びて、我々の前に現れてきた。それは我々が普通に宗教的に言う「悟る」という意味の「目覚め」が、同時に、技術文明の目覚めでもあるということである。

私はいろいろ聞く中で、コーリー・グッドが強調して言った、「宇宙船というのはひとつの being だよ」という言葉に、最も注意を引かれた。これは、わかり易く言えば「生命体」ということではなからうか? しかし life form とも言えないので、being と言ったのではないだろうか? つまり、彼らの乗り物が、我々のもつ乗り物とは違って、格段に発達しているのは、彼らの意識が目覚めているからではないだろうか? つまり彼らと我々は、文明開化の基本原則が違っているのであって、我々は明治時代のまま変わらない、機械の発達のことを言い、現代であれば AI を誇っているが、それは彼らの、神の宇宙的調和のような文明開化ではない。それは、「次元上昇」すなわちアセンションを果たした者の発達段階とは、原理的に違っている。コーリーは別の所で、「宇宙人の技術というが、それは技術というより意識なのだ」と言っている。

サタンとは何であるか？ サタンとは、我々人間のアセンションを必死になって阻止する者のことである。それは悪のために悪を行う者で、したがって「純粹悪」と呼ばれる。サタンからすれば、人間どもに宇宙の秘密、「ディスクロージャー」を許してはならず、我々人間からすれば、宇宙的調和を無視して、すなわち利己的・物理的な欲望をそのままにしておいて、うまい汁だけを吸うことはできない。そのためにゆっくりできない。あらゆる警告者が、共通して必死に覚醒せよと言っているのである。これから起こるであろう苦難はすべて、覚醒のための神の計らいと解釈すべきものである。我々の意識と環境（宇宙船）は一体として動くからである。